2022年度 当初予算 都道府県観光予算アンケート ⑤関西

観光経済新聞社は、47都道府県の観光担当部課を対象に、2022年度当初予算の観光予算額についてアンケート調査を実施した。地方ブロックごとに回答結果を紹介している。◆当初予算に前後する補正予算などを合わせ、今後実施予定の「観光需要喚起策」についても聞いたが、都道府県からの回答は5月時点であり、観光庁が6月17日に発表した、全国を対象とした観光需要喚起策は、回答内容に反映されていない。

「観光需要喚起策」は5月回答時の内容

22年度当初予算の「観光予算額」は、各自治体の観光担当部課に計上した予算額について回答を求めた結果。国の補助金などを充てた事業の予算額は含めたが、職員給与費は除外して回答してもらった。調査票は5月上旬に発送し、回答期限は5月31日だが、一部自治体からは期限を過ぎて回答を回収した。

観光予算は自治体によって観光担当部課に計上する事業の性格に違いがあり、都道府県間の比較、前年度との比較などには注意が必要だ。当初予算を補正予算と一体で編成する場合もあり、当初予算だけで予算規模の大小を把握することもできない。

自治体別の各表の【当初観光予算】に付け加えた記載部分は、予算の大幅な増減などの要因として留意すべき事項の欄に記入があった自治体のみ掲載した。【予算額上位】の項目は、当初予算の観光予算額の中で金額の大きい上位五つの事業について回答してもらった結果。【分野別主要事業】の項目の回答は、「国内（日本人旅行、都道府県民旅行含む）誘客促進に関する主要事業」▽「インバウンド（訪日外国人旅行）の再開を見据えた誘客促進に関する主要事業」▽「観光資源の発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備、観光地域づくり、マーケティングに関する主要事業」▽「観光産業の振興・支援、人材育成、観光団体・DMOへの支援に関する主要事業」―の4分野に分けて、主な事業を聞いた結果。【観光需要喚起策】の欄は、旅行・宿泊費の割引補助など、6月以降に予定している観光需要喚起策について聞いた結果。22年度当初予算、前後して編成された21年度補正予算、22年度補正予算などを含め、予定している施策の概要を記入してもらった。国費を活用した県民割事業（地域ブロック割事業）、都道府県版GoTOトラベル事業などは、国の方針で実施時期などが左右される。観光庁が6月17日に発表した、全国を対象とした観光需要喚起策については、都道府県の回答が5月であり、回答内容に反映されていない。また、都道府県版GoTOトラベル事業などの予算は、繰り越し、補正予算への計上、当初予算への計上など、自治体によって取り扱いが異なっている。

京都府

【当初　観光予算】

4,065,053千円（前年度比106%）

【予算額上位】
①「海の京都」事業（1,652,052千円）
②「森の京都」事業（719,444千円）
③「お茶の京都」事業（549,809千円）
④宿泊施設立地促進事業（165,000千円）
⑤インバウンド対策強化事業（85,598千円）

【分野別主要事業】
■日本人国内旅行誘客促進
○京都府観光連盟等育成事業（68,343千円）　○府域連携周遊事業（25,700千円）　○文化観光推進事業（4,000千円）
■インバウンド誘客促進
○インバウンド対策強化事業（85,598千円）　○「もうひとつの京都」多言語情報発信強化事業（13,161千円）　○MICE誘致促進事業（3,000千円）
■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
○宿泊施設立地促進事業（165,000千円）　○総合観光案内所運営費（47,460千円）　○「食の京都」推進事業（23,700千円）
■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
○「海の京都」事業（1,652,052千円）　○「森の京都」事業（719,444千円）　○「お茶の京都」事業（549,809千円）

◆観光需要喚起策
きょうと魅力再発見旅全国展開事業
2021年度2月補正予算（25,250,000千円）　実施期間＝未定
国の補助制度を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ府内旅行業界の需要回復を図るため、感染状況を見極めつつ、旅行への割引支援等を実施する。

滋賀県

【当初　観光予算】

1,482,101千円（前年度比100.1%）

【予算額上位】
①「今こそ滋賀」観光推進事業（560,476千円）
②ここ滋賀推進事業（209,819千円）
③県域観光物産振興組織事業（182,567千円）
④観光関連産業継続支援事業（180,000千円）
⑤シガリズム魅力向上・発信事業（93,500千円）

【分野別主要事業】
■日本人国内旅行誘客促進
○「今こそ滋賀」観光推進事業（560,476千円）
○ビワイチ観光推進事業（43,722千円）
○ウェルカム滋賀教育旅行誘致事業（64,500千円）
■インバウンド誘客促進
○国際観光推進事業（33,578千円）
■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
○シガリズム魅力向上・発信事業（93,500千円）
○シガリズム創出データ活用モデル事業（8,000千円）
■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
○県域観光物産振興組織事業（182,567千円）
○シガリズム観光人材育成・活性化事業（10,600千円）
○観光関連産業継続支援事業（180,000千円）

◆観光需要喚起策
「今こそ滋賀を旅しよう！」宿泊キャンペーン事業
2022年度当初予算（560,476千円）　実施期間＝国のGo　Toトラベル事業実施期間と合わせる予定
Go　Toトラベル事業とセットで制度設計を行い、県独自で上乗せとしてクーポン券を配布することにより、全国からの旅行者の誘客につなげ、観光関連産業を支援する。

兵庫県

【当初　観光予算】

991,505千円（前年度比97.5%）

前年度比は、前年度予算から、未実施の宿泊割引・おみやげ券配布事業（683,000千円）を差し引いて比較

【予算額上位】
①ひょうご観光本部DMO体制整備支援事業（75,306千円）
②兵庫デスティネーションキャンペーンの展開（75,000千円）
③インバウンド再開を見据えた海外プロモーション（40,000千円）
④観光特産品ブランド構築事業（36,672千円）
⑤神戸ルミナリエ開催事業（35,300千円）

【分野別主要事業】
■日本人国内旅行誘客促進　○兵庫デスティネーションキャンペーンの展開（75,000千円）　○ユニバーサルツーリズムの推進（12,898千円）　○観光・特産品の首都圏プロモーションの実施（10,632千円）
■インバウンド誘客促進　○大阪・関西万博を見据えた水上交通観光圏の形成（18,261千円）　○インバウンド再開を見据えた海外プロモーション（40,000千円）
■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など　○ふるさと桜づつみ回廊プロジェクトの実施（3,565千円）　○ひょうご地域資源を活かした体験型コンテンツ造成・流通促進事業（36,672千円）
■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など　○ひょうご観光本部DMO体制整備支援事業（75,306千円）　○観光人材確保・育成の強化事業（11,200千円）

◆観光需要喚起策
旅行・宿泊割引支援事業の展開
2021年度2月経済対策補正（16,640,000千円）
実施期間：7月～2023年2月末（夏休み、年末年始除く）予定
コロナ禍で減少した過去2年間の宿泊需要の落ち込み（約1,000万泊）の回復を図るため、その半数程度の支援を目標に、県民割、Go　Toトラベル（国）、旅行・宿泊割引支援事業と、継続した支援を実施。

大阪府

【当初　観光予算】

2,234,049千円（前年度比128.1%）

【予算額上位】
①国内旅行消費喚起事業費（1,000,000千円）
②大阪観光局運営事業（266,750千円）
③水と光とみどりのまちづくり推進事業費（257,986千円）
④ナイトカルチャー魅力創出事業費（222,740千円）
⑤天保山客船ターミナル整備事業費補助金（218,894千円）

【分野別主要事業】
■日本人国内旅行誘客促進
○国内旅行消費喚起事業費（1,000,000千円）
○大阪観光局運営事業（266,750千円）
○水と光とみどりのまちづくり推進事業費（257,986千円）
■インバウンド誘客促進
○大阪観光局運営事業（266,750千円）
○ナイトカルチャー魅力創出事業費（222,740千円）
○国内外への魅力発信事業費負担金（80,000千円）
■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
○大阪観光局運営事業（266,750千円）
○天保山客船ターミナル整備事業費補助金（218,894千円）
○トラベルサービスセンター運営費負担金（45,469千円）
■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
○大阪観光局運営事業（266,750千円）

◆観光需要喚起策
――

和歌山県

【当初　観光予算】

736,141千円（前年度比116.6%）

【予算額上位】
①わかやま「観光力」推進（219,040千円）
②国際観光推進（126,278千円）
③観光客誘致対策（98,806千円）
④外国人観光客受入環境整備（57,668千円）
⑤世界遺産等推進（53,405千円）

【分野別主要事業】
■日本人国内旅行誘客促進　○わかやま「観光力」推進（219,040千円）　○観光客誘致対策（98,806千円）　○世界遺産等推進（53,405千円）
■インバウンド誘客促進　○国際観光推進（126,278千円）　○外国人観光客受入環境整備（57,668千円）　○外国人観光客受入環境高度化（15,000千円）
■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など　○水の国、わかやま。（26,480千円）　○わかやま歴史物語（9,600千円）　○外国人観光客受入環境整備（57,668千円）
■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など　○わかやま「観光力」推進（219,040千円）　○サイクリング王国わかやま（29,276千円）　○世界遺産等推進（53,405千円）

◆観光需要喚起策
○県民リフレッシュプラン販売促進
2021年度2月補正（3,436,063千円）　実施期間＝4月1日～5月31日予定　国の地域観光事業支援補助金を活用し、県内の観光需要を喚起。
○和歌山県版Go　Toトラベル）
2021年度2月補正予算（6,809,904千円）　実施期間＝未定
国の地域観光事業支援補助金を活用し、観光需要喚起策として和歌山県版Go　Toトラベル事業を実施。

奈良県

【当初　観光予算】

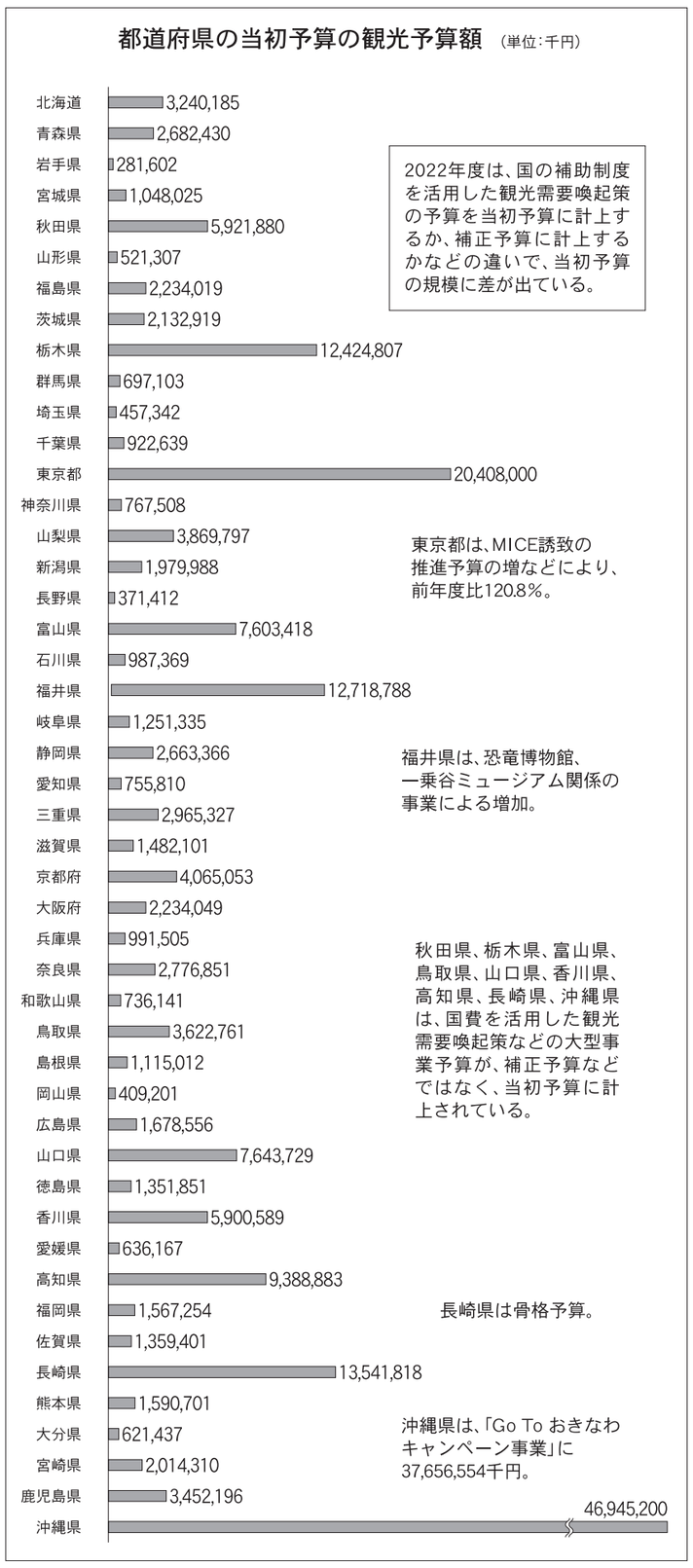
2,776,851千円（前年度比113.9%）

【予算額上位】
①県内宿泊等促進キャンペーン事業（1,270,000千円）
②ガストロノミーツーリズム推進事業（203,510千円）
③奈良県コンベンションセンター管理運営事業（192,727千円）
④奈良県外国人観光客交流館運営事業（183,072千円）
⑤奈良県観光キャンペーン事業（182,500千円）

【分野別主要事業】
■日本人国内旅行誘客促進
○奈良県観光キャンペーン（182,500千円）
○「奈良まほろば館」新拠点整備事業（148,710千円）
○県内宿泊等促進キャンペーン事業（1,270,000千円）
■インバウンド誘客促進
○新市場開拓キャンペーン（9,634千円）
■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
○奈良県観光総合戦略推進補助金（30,000千円）
○観光振興の土台づくりに向けた地域支援・連携促進事業（12,000千円）
○観光戦略推進事業（11,940千円）
■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
○タクシー利用型観光地づくり事業（4,500千円）
○奈良県ビジターズビューロー活動支援事業（90,727千円）

◆観光需要喚起策
県内宿泊等促進キャンペーン事業
2022年度当初予算（1,270,000千円）／2021年度補正予算2月追加（5,860,000千円）　実施期間＝7月予定　現在実施している「春のいまなら。キャンペーン2022」に引き続き、7月から新たにキャンペーンを実施し、年間を通して県内の観光需要を喚起する。

本社調査 2022年度



調査データ